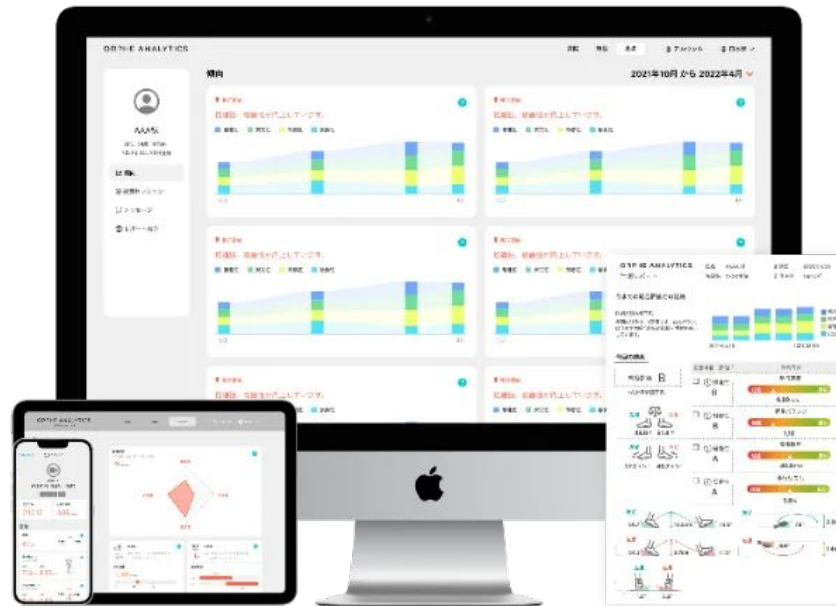


最短2分で歩容を解析。
歩行分析のDXソリューション。

ORPHE ANALYTICS MEDICAL

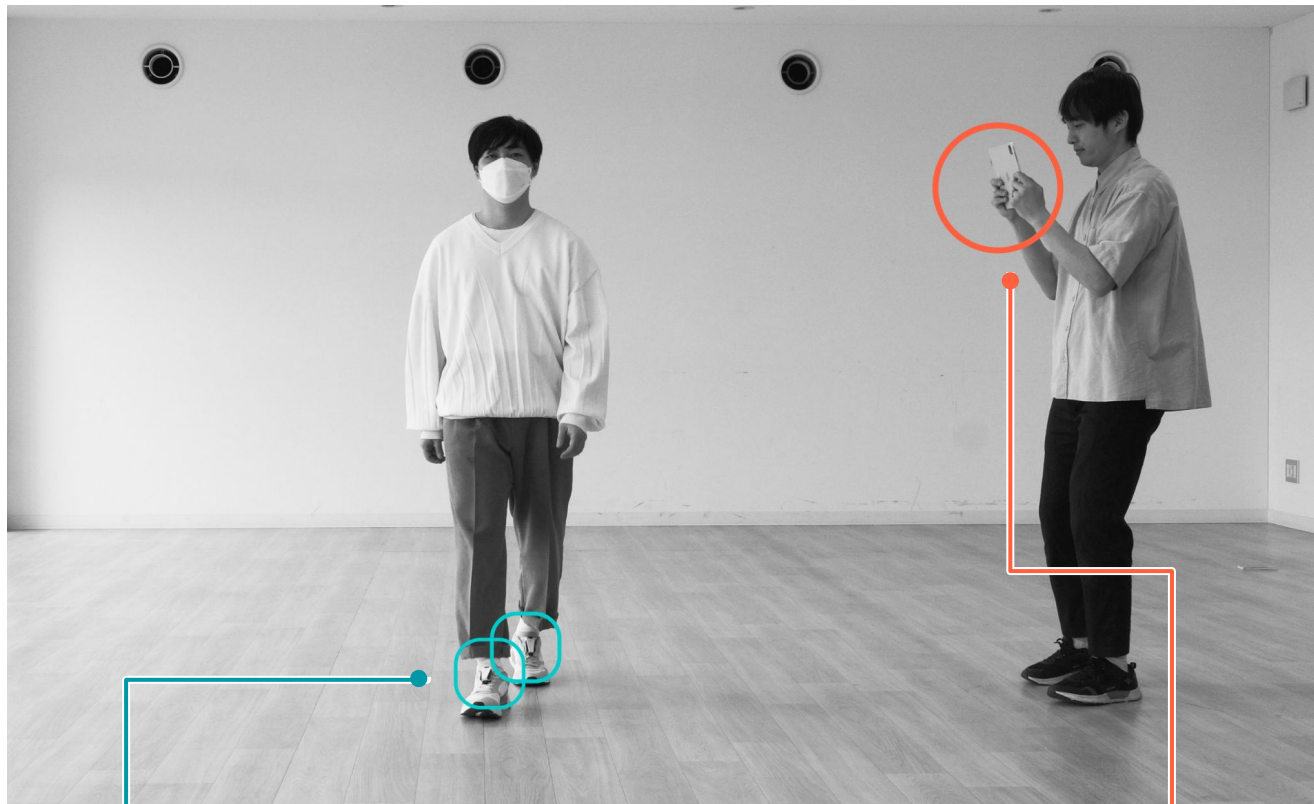


製品概要

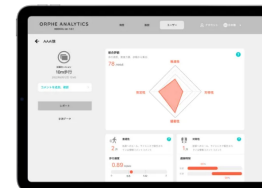
ORPHE ANALYTICS MEDICALとは

医療の現場での定量的な歩行分析をかつてなく手軽なものにするDXソリューション。

スピーディなセッティングと高度な解析で臨床での歩行分析にイノベーションをもたらします。



センサーデバイス
ORPHE CORE MEDICAL



計測用アプリ(iOS app)
ORPHE ANALYTICS MEDICAL

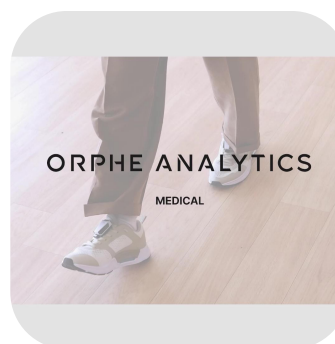
使用イメージを動画で見る

ORPHE ANALYTICS MEDICALの使用イメージ動画をご覧ください。
導入検討のご参考にぜひお役立てください。

[ORPHE ANALYTICS MEDICAL | QUICK RECORD](#)



[Various gait patterns | ORPHE ANALYTICS MEDICAL](#)



[チュートリアル | ORPHE ANALYTICS MEDICAL](#)



製品の特徴

簡便にすばやく計測結果を確認できるため、少ない時間でも細やかな計測が可能な製品です。

継続的にお使いいただくことで、日々の経過をよりはっきりと患者様に共有できます。

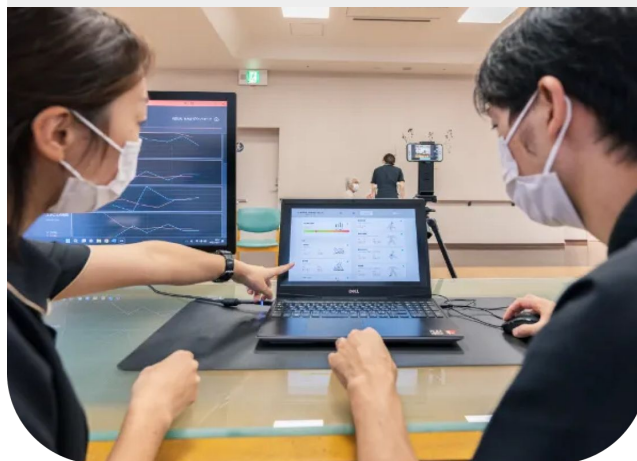
計測から最短2分で わかりやすいレポートを出力

業務中の少ない時間の中でも
すばやく計測を行えます。



院内や院外の 情報伝達をより確実に

歩行状態を「みえる化」することで、今まで
言語化の難しかった情報の共有が可能
になりました。



D250 平衡機能検査に対応

D250 平衡機能検査 5.動作分析検査
(診療報酬250点)に対応。定量的な分析
で質の高い医療を実現します。



ORPHE ANALYTICS MEDICAL でできること

システム構成と計測可能な指標

ネットワーク通信を介してiOSデバイスからセンサーデータをサーバーへ送信して、独自のアルゴリズムで歩容を可視化します。



解析可能な指標

- 歩行速度
- 歩幅
- 足の高さ
- プロネーション
- 離地角度
- 着地角度
- 立脚期
- 遊脚期
- 着地衝撃
- 足向角
- スイング幅
- 歩行周期の変動性

簡単な計測、素早く確認

必要な操作はセンサーとスマホ・タブレットのアプリをBluetoothで接続するだけ
計測から結果表示までスピーディな歩行計測で、定量的な臨床活動を後押しします。

STEP.1

センサーを接続

閉じる 完了

ORPHE CORE を接続する

左足

接続済

右足

接続済

ORPHE COREの装着位置

- 足背部にマウントで装着
- 専用シューズの足底に収納

STEP.2

歩行の計測

STEP.3

結果を確認・共有

ORPHE ANALYTICS 氏名 AAAA 様 計測日 2021/08/30
計測レポート 施設名 XXXX病院 計測内容 10m歩行

今までの総合評価との比較

計測お疲れ様です。
今回の計測は、4回目です。右のグラフは今までの総合評価の比較・推移を表示しています。

今回の結果

計測項目・評価	計測内容
総合評価 A *Aが標準値です。	歩行速度 1.21m/s
左足 50.3% 右足 49.7%	荷重バランス 1.01
左足 54.0 m/s ² 右足 49.0 m/s ²	着地衝撃 54.0 m/s²
	歩行リズム 4.2%
左足 72.6° 右足 67.8°	左足 5.9° 右足 3.3°
左足 13.9cm 右足 12.4cm	左足 1.8cm 右足 2.3cm
左足 18.6° 右足 15.6°	左足 2.0° 右足 4.9°

豊富な可視化バリエーション

計測した歩行データを様々な視点で分析します。

1 レポート

「推進性」「対称性」「緩衝性」「安定性」の4つの観点について5段階で評価



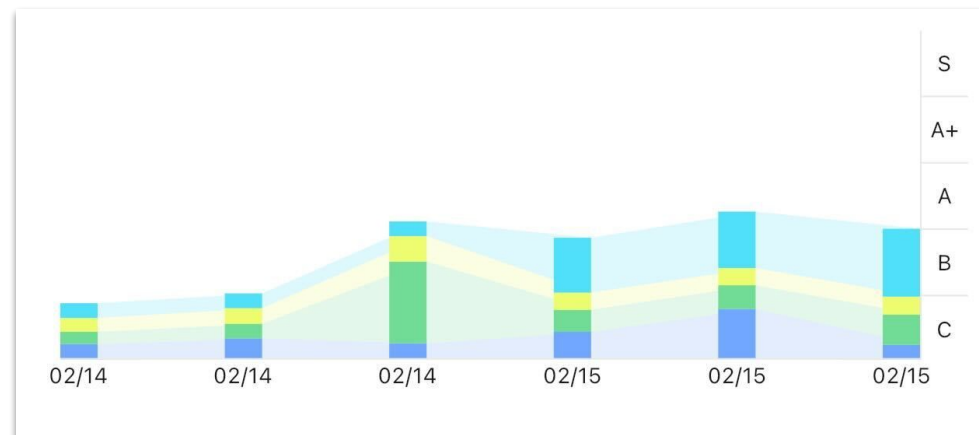
2 比較

複数計測日を比較することで、術前・術後や介入前後など変化の程度を振り返る際にもご活用いただけます。



3 傾向

定期的な計測をかさねることで、データ変化の傾向を期間ごとに観測します。



端末毎の利用できる機能

計測用のiOSアプリの他、閲覧用のブラウザソフト(Google Chrome)が用意されています。
治療効果の見える化だけでなく、スタッフ間の円滑なコミュニケーションもサポートします。

現場でコンパクトにフィードバック

データの閲覧・PCに直接CSV出力



iOSアプリ
(iPhone / iPad)



Chromeブラウザ
(PC)

利用可能な機能

ORPHE COREと接続、歩行の計測	●	
データの閲覧	●	●
結果の出力	レポート(PDF)	●
	サマリー(CSV)	●

ORPHEのテクノロジー

センサーデバイス ORPHE CORE

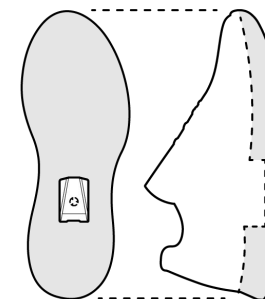
ORPHE CORE<オルフェ コア>は小型軽量なセンサーデバイスです。
靴に取り付けて高精度に足の動きを計測します。

ORPHE CORE MEDICAL



	説明/単位
サイズ	45×29×14mm
重さ	約20g
モーションセンサ	加速度(XYZ)、角速度(XYZ)
解析性能	200Hzで解析
防水性能	IPX7準拠(防水仕様) *AppleWatch同等
連続駆動時間	約8時間
電池	300mA Li-Po/バッテリー
充電方式	microUSB / 無線給電
通信方式	BluetoothLowEnergy(通信頻度約50Hz)
LED	フルカラーLED
プロセッサ	ARM Coretex-M4

■専用シューズ [EASYRUN SHIBUYA] に搭載



■足背での計測に対応



SHOELACE MOUNT
靴紐用



SLIP-ON MOUNT
スリッポン用

歩容解析アルゴリズム

慣性センサーデータを Zero-Velocity Updates (ZUPTs) の思想に基づいた独自アルゴリズムで解析

- **ZUPTs**

センサー値のドリフトの影響を受けにくい歩容解析の仕組みです。路面に対して足部の動きが止まる瞬間を基準としてセンサー値を演算します。弊社の解析アルゴリズムはZUPTsの思想に基づいた独自アルゴリズムです。

- **センサー座標系について**

右足は右手座標系 (Z-up)、左足は右足をYZ平面で反転させた座標系です。

- **足背装着時のセットアップについて**

計測開始時に足底面が水平の状態であることを前提にして、センサーの傾きを補正しています(XY軸のみ)。



解析アルゴリズム | 精度情報

解析精度はモーションキャプチャーと比較することで検証しています。

- Sensors | An Open Access Journal from MDPI に掲載されています。
- DOI: <https://doi.org/10.3390/s23010331>



Article

Validity of Spatio-Temporal Gait Parameters in Healthy Young Adults Using a Motion-Sensor-Based Gait Analysis System (ORPHE ANALYTICS) during Walking and Running

Yuki Uno ^{1,2}, Issei Ogasawara ^{1,3}, Shoji Konda ^{1,3}, Natsuki Yoshida ¹, Naoki Otsuka ², Yuya Kikukawa ², Akira Tsujii ³ and Ken Nakata ^{1,*}

計測可能な指標

スコアリング | 算出項目

名称	概要	判定基準	関連トピックス
<p>推進性</p>	<p>歩行速度に基づいて5段階で評価します。</p>	<p>S 1.5~ A+ 1.25~1.5 A 1~1.25 B 0.5~1 C ~0.5</p> <p>m/s</p>	<p>サルコペニア ロコモティブシンドローム フレイル 認知症スクリーニング 介入効果の検証 転倒予防 歩行能力評価</p>
<p>安定性</p>	<p>歩行周期の変動性 (StrideTimeCV) に基づいて5段階で評価します。</p> <p>$\text{StrideTimeCV} = 100 * \text{std}(\text{stride durations in a trial}) / \text{average}(\text{stride durations in a trial})$</p>	<p>S ~3.0 A+ 3.0~7.0 A 7.0~15.0 B 15.0~30.0 C 30.0~</p> <p>%</p>	<p>サルコペニア ロコモティブシンドローム フレイル 認知症スクリーニング 転倒予防</p>
<p>対称性</p>	<p>左右の単脚支持時間の比 (Symmetry Ratio) に基づいて5段階で評価します。</p> <p>$\text{Symmetry Ratio} = \max(\text{SSD}_L, \text{SSD}_R) / \min(\text{SSD}_L, \text{SSD}_R)$</p> <p>※SSD_L: 左片脚支持時間、SSD_R: 右片脚支持時間</p>	<p>S ~1.03 A+ 1.03~1.10 A 1.10~1.20 B 1.20~1.50 C 1.50~</p> <p>-</p>	<p>一側性の障害に関する効果判定 (整形外科疾患や脳梗塞後遺症など)</p>
<p>緩衝性</p>	<p>着地衝撃 (Landing Impact) [m/s²] の左右大きな側の値に基づいて5段階で評価します。</p> <p>$\text{Landing Impact} = \text{square root}(\text{AccX}_{\text{peak}}^2 + \text{AccY}_{\text{peak}}^2 + \text{AccZ}_{\text{peak}}^2)$</p> <p>※peak: 接地瞬間付近のピーク値</p>	<p>S ~30 A+ 30~60 A 60~90 B 90~150 C 150~</p> <p>m/s²</p>	<p>関節負担の程度</p>

ORPHE CORE から取得されるデータ一覧 | 歩容指標

名称	概要	単位
歩行速度	<p>一歩ごとの移動速度から、1回の計測における平均歩行速度を算出します。</p> <p>歩行速度は様々な症候との関連が報告されているほか、転倒ガイドラインでも推奨されるパラメータです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽度認知障害と診断された人は、毎年0.01m/s遅くなっていくことが報告されています。[T Buraccui et al.,2010] ・通常歩行速度<1.0m/s:フレイル・サルコペニアの診断基準の一つに設定されています。[Satake S & Arai H, 2020] ・通常歩行速度<0.7m/s:転倒リスクが高いことが報告されています。[Shimada H, 2009] 	m/s
歩幅	<p>一方の足が接地してから逆足が接地するまでの歩幅です。</p> <p>一般に平均的な歩幅は約70cmとなります。[Kirsten Götz-Neumann,2005]</p>	m
足の高さ	<p>遊脚期に足が上がっている高さです。</p>	m
スイング幅	<p>遊脚期に足が側方にぶれる幅です。プラスの値は外側へのブレを示します。</p> <p>この値は、ぶん回し歩行や跛脚(はさみあし)歩行などで増加します。</p>	
立脚期 (遊脚期) (両脚支持期)	<p>片足1ストライドを100%としたときの、立脚期・遊脚期・両脚支持期をパーセント表示した指標です。一般的な歩行においては、立脚期60% (両脚支持期20%、単脚支持期40%)、遊脚期は40%です。フレイル症例では両脚支持期の増加がみられた(約30%)ことが報告されています。[Schwenk M, 2014]</p>	%
歩行周期の変動性	<p>ストライド時間の変動係数です。値が大きいほど不安定な歩行であることを示します。</p> <p>通常歩行において2.54%以上は転倒リスクの高さと関連したことが報告されています。[新井ら, 2011]</p>	
着地角度	<p>着地時の足底と路面のなす角度です。</p>	
離地角度	<p>足部が路面から離れる時の足底と路面のなす角度です。</p>	°
プロネーション	<p>着地から足底接地にかけて足部が内側に倒れ込む角度です。</p>	
足向角	<p>進行方向に対するつま先の角度です。</p> <p>プラスの値はつま先が外側に開いていることを示します。</p>	
着地衝撃	<p>着地時に足部にかかる加速度のピーク値(軸ノルム)です。</p>	m/s ²

CSV出力時に取得可能な項目

01.計測日時	16.着地角度_左[°]	31.推定距離[m]	46.ストライド時間_左[s]
02.タイム[分'秒'フレーム]	17.着地角度_右[°]	32.遊脚期_左[%]	47.ストライド時間_右[s]
03.歩行速度[m/sec]	18.着地角度_左右平均[°]	33.遊脚期_右[%]	48.ストライド時間_左右平均[s]
04.歩幅[cm]	19.離地角度_左[°]	34.遊脚期_左右平均[%]	49.立脚時間_左[s]
05.足の高さ_左[cm]	20.離地角度_右[°]	35.単脚支持時間の割合_左[%]	50.立脚時間_右[s]
06.足の高さ_右[cm]	21.離地角度_左右平均[°]	36.単脚支持時間の割合_右[%]	51.立脚時間_左右平均[s]
07.足の高さ_左右平均[cm]	22.プロネーション_左[°]	37.単脚支持時間の割合_左右平均 ※必ず50%になります[%]	52.遊脚時間_左[s]
08.スイング幅_左[cm]	23.プロネーション_右[°]	38.荷重バランス (単脚支持時間の左右比)	53.遊脚時間_右[s]
09.スイング幅_右[cm]	24.プロネーション_左右平均[°]	39.着地衝撃 (左右の着地衝撃の大きい方の値)[m/s ²]	54.遊脚時間_左右平均[s]
10.スイング幅_左右平均[cm]	25.足向角_左[°]	40.ストライド長_左[cm]	55.推進性 [0-100] ※5段階評価は20点刻みになります
11.立脚期_左[%]	26.足向角_右[°]	41.ストライド長_右[cm]	56.安定性 [0-100] ※5段階評価は20点刻みになります
12.立脚期_右[%]	27.足向角_左右平均[°]	42.ストライド長_左右平均[cm]	57.対称性 [0-100] ※5段階評価は20点刻みになります
13.立脚期_左右平均[%]	28.着地衝撃_左[m/s ²]	43.ケイデンス_左[steps/s]	58.緩衝性 [0-100] ※5段階評価は20点刻みになります
14.両足支持期[%]	29.着地衝撃_右[m/s ²]	44.ケイデンス_右[steps/s]	59.メモ ※コメントに入力された内容が反映されます
15.歩行リズム (歩行周期の変動性)[%]	30.着地衝撃_左右平均[m/s ²]	45.ケイデンス_左右平均[steps/s]	

製品価格

価格 [2023年2月]

試験的な導入に最適

短期プラン

長期のデータ収集・蓄積に最適

年間プラン

短期プランより2ヶ月(79,200円)分お得

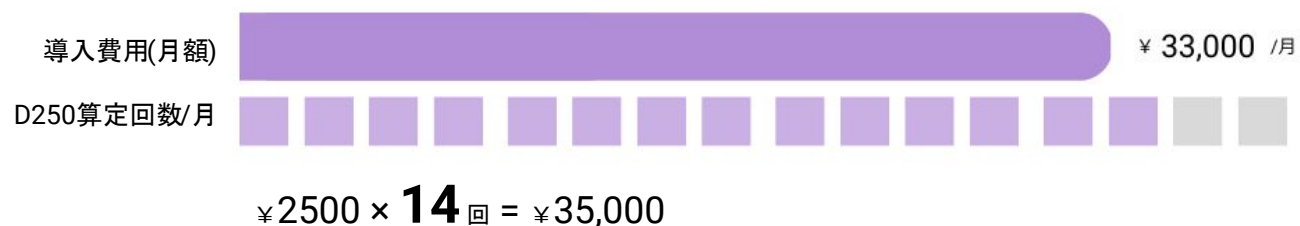
月額利用料	¥ 39,600 税込	¥ 33,000 税込 [総額 ¥396,000]
最短利用月数	1ヶ月～ 数ヶ月分まとめた契約や前契約終了後の追加契約が可能	—
レンタル内容	ORPHE CORE MEDICAL(専用センサ): 2個 マウントパーツ(取付パーツ): 2個 シューズバンド: 1セット(2本) 充電用USBケーブル: 1本	ORPHE CORE MEDICAL(専用センサ): 2個 マウントパーツ(取付パーツ): 2個 シューズバンド: 1セット(2本) 充電用USBケーブル: 1本
データの保管期間	契約終了後 1 年間 保管	契約終了後 5 年間 保管
支払い形式	契約単位の一括払い 月賦払いをご希望の場合には 月単位の契約として毎月請求書を発行いたします	契約単位の一括払い

※プランの内容は予告なく変更になる場合があります。

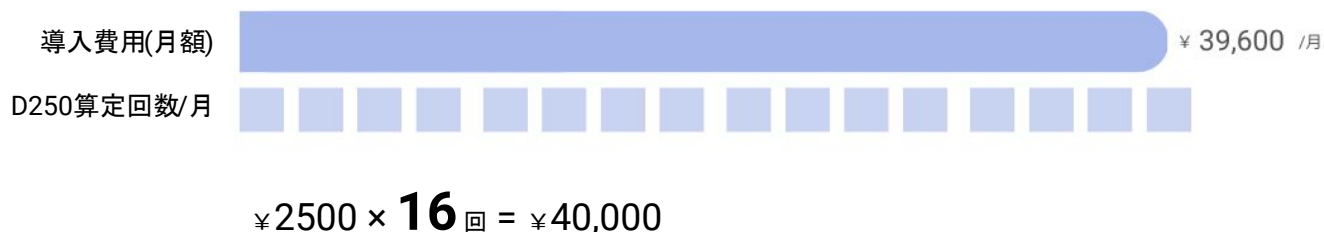
価格 [2023年2月]

月々の D250 平衡機能検査 [動作分析検査] での算定回数が一定を超えると、
月額費用が回収でき、病院経営を圧迫せずに質の高い医療サービスを実現できます。

年間プラン



短期プラン



各種プランの月額費用に対する月当たりのD250算定回数シミュレーション
月の算定回数が**太字**を満たすと、導入費用をかけずに臨床現場でお使いいただけます。

オプション価格

レンタル

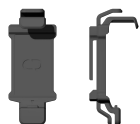
年間レンタルは2ヶ月分お得



ORPHE CORE MEDICAL(2個1セット)の追加レンタル
靴紐取付用マウントパーツ2個1セットが付属

¥ 6,600 税込 / 月
[¥ 66,000 税込 / 年]

購入



マウントパーツ
靴紐・シューズバンドに取付可能なパーツ ※両足装着には2個必要

¥ 2,200 税込 / 個



シューズバンド(2本1セット)
靴紐が無い靴でマウントパーツを取り付けるためのゴムバンド

¥ 1,650 税込 / セット

ご利用の流れ | 15日間の無料トライアルをお試しできます

無料トライアル・有償利用の開始前には、必要に応じて導入サポートを実施いたします。

ご利用の流れ



※ 無料トライアルから有償利用に移行される場合には、センサーデバイスはそのままお使いいただきます。
(センサーレンタル込みの契約形態です)

例)

8月12日無料体験期間終了の場合→最短8月15日でご利用開始となります。→詳細は次ページ「ご利用のお申込みについて」

無料トライアルの
お申し込みはコチラから

<https://forms.gle/BBY5tbwffXXcmxns9>

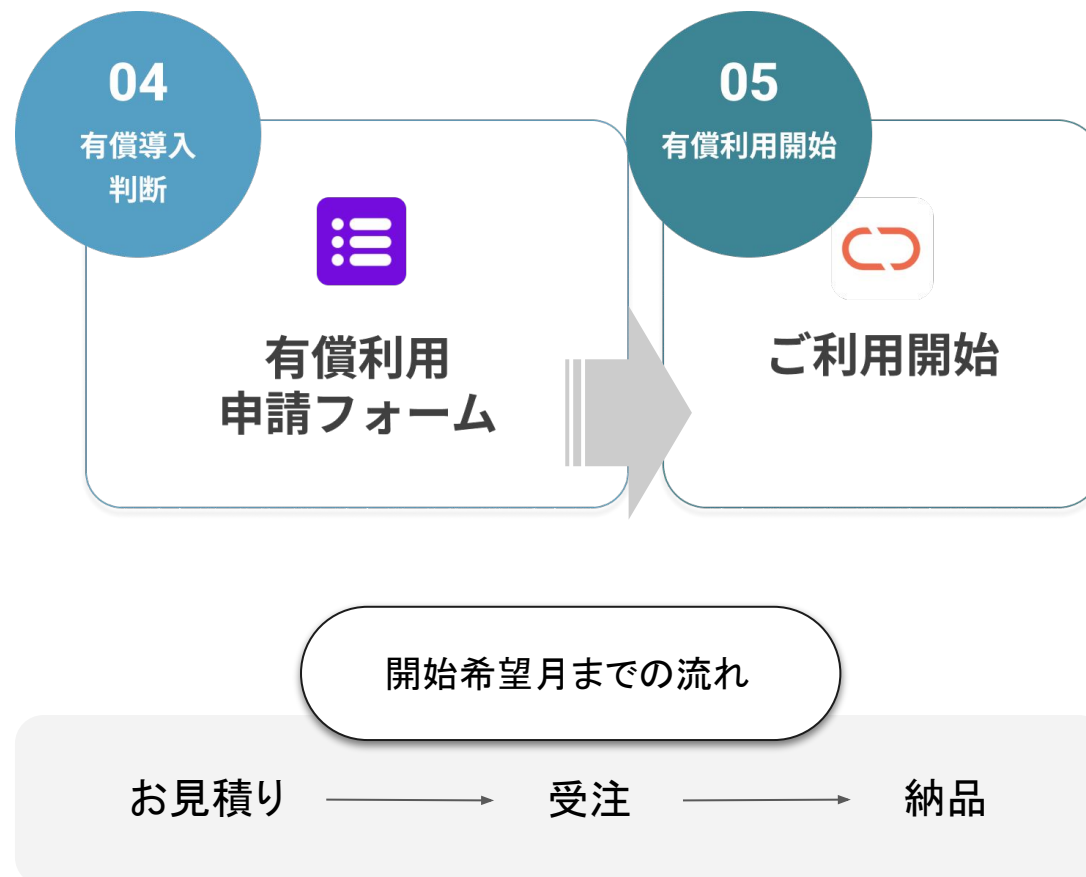


ご利用のお申込みについて | 04申請～05利用開始

ご利用お申込み時は、お申込みフォームから以下の情報を入力いただきますと、担当者より見積書をお送りいたします。

お申込み時に必要な情報:

- 基本情報(導入代表者、医療機関名など)
- ご希望プラン
- オプション追加の選択
- 開始希望日
 - 各月1日(月頭)もしくは16日(月半ば)
- お支払方法
 - 銀行振込:分割払い / 一括払い

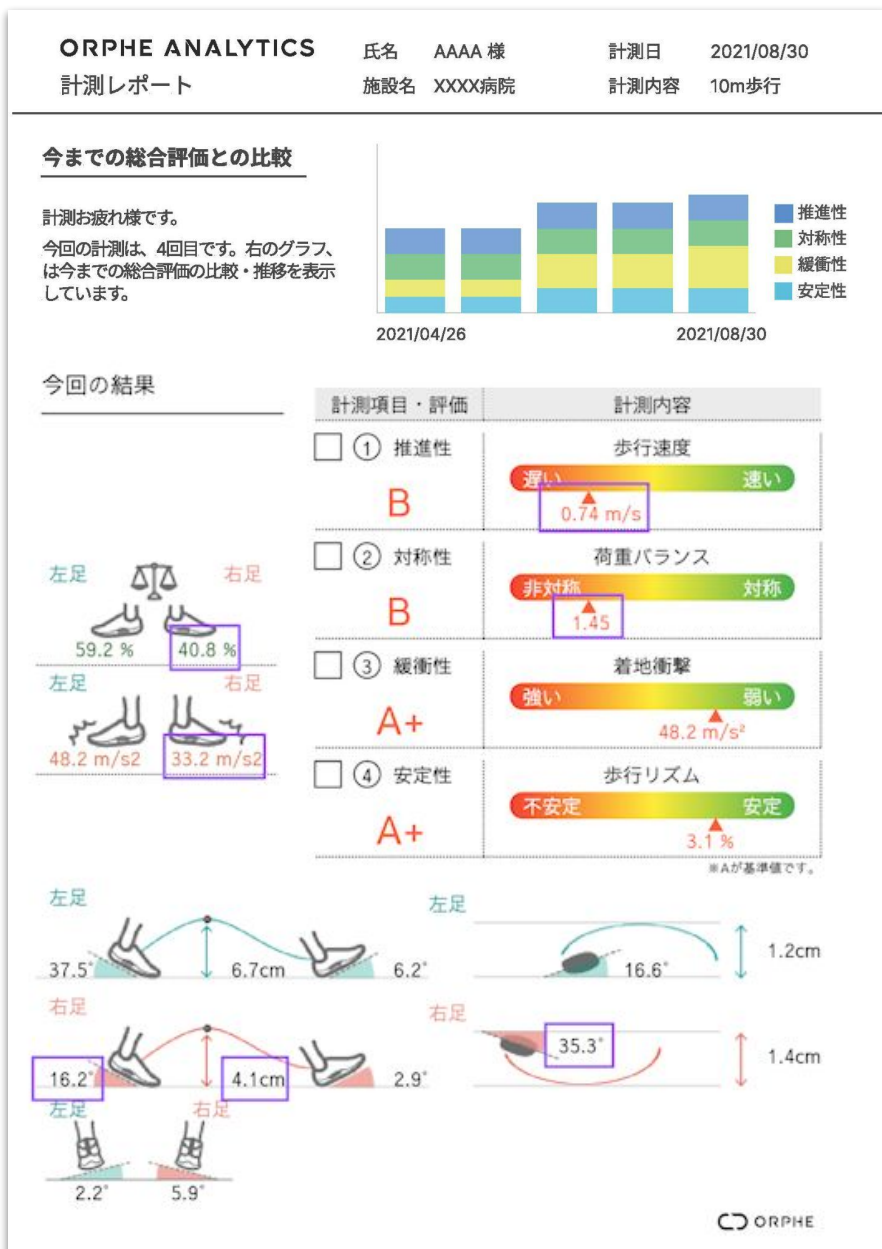


活用事例

診療科・病期別の活用事例一覧

	整形外科	脳神経外科 神経内科	耳鼻咽喉科
適応疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・変形性関節症 ・スポーツ障害； ・前十字靭帯損傷術後、 ・アキレス腱断裂術後等 	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中後麻痺で歩行障害を呈する方 ・パーキンソン病等の神経疾患 	<ul style="list-style-type: none"> ・めまいやふらつきの自覚を有する方 ・めまい症 ・耳性めまい ・末梢性めまい症等
歩行における 着眼点	<ul style="list-style-type: none"> ・患側機能を評価するために、足の角度や立脚期時間などの指標の健患差(左右差)に着目 ・足底挿板などの装具介入効果を可視化するために、各指標の患健差や歩行パフォーマンス(歩行速度や歩幅)に着目 	<ul style="list-style-type: none"> ・麻痺やすくみ足に伴う転倒リスクを評価するために、足の高さや足の着地角度、歩行の安定性に関わる歩行周期のばらつき・両脚支持期に着目 ・歩行のエネルギー効率を評価する観点で、ぶん回し幅や足の高さ、歩行周期のばらつきに着目 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行中のふらつきを評価するために、歩行の安定性に関わる歩行周期のばらつき・両脚支持期に着目
現場での 活用	<ul style="list-style-type: none"> ・術前、術後、退院前評価を実施することによる介入効果を定量化 ・歩行能力の変化を提示することによる患者の動機づけ ・再発予防を目的とした歩行動作指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期以降の長期間に及ぶリハビリ介入の定期的な定量化 ・歩行能力の変化を提示することによる患者の動機づけ ・転倒予防のための患者教育・院内情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期診察時における介入効果を定量化 ・転倒予防のための患者教育

活用事例 | 整形外科 | 右脚痛による逃避性跛行の例



推進性(歩行速度):

- ・移動能力、転倒リスクの評価

対称性(単脚支持期の左右比):

- ・左右の支持性の差を評価

着地衝撃:

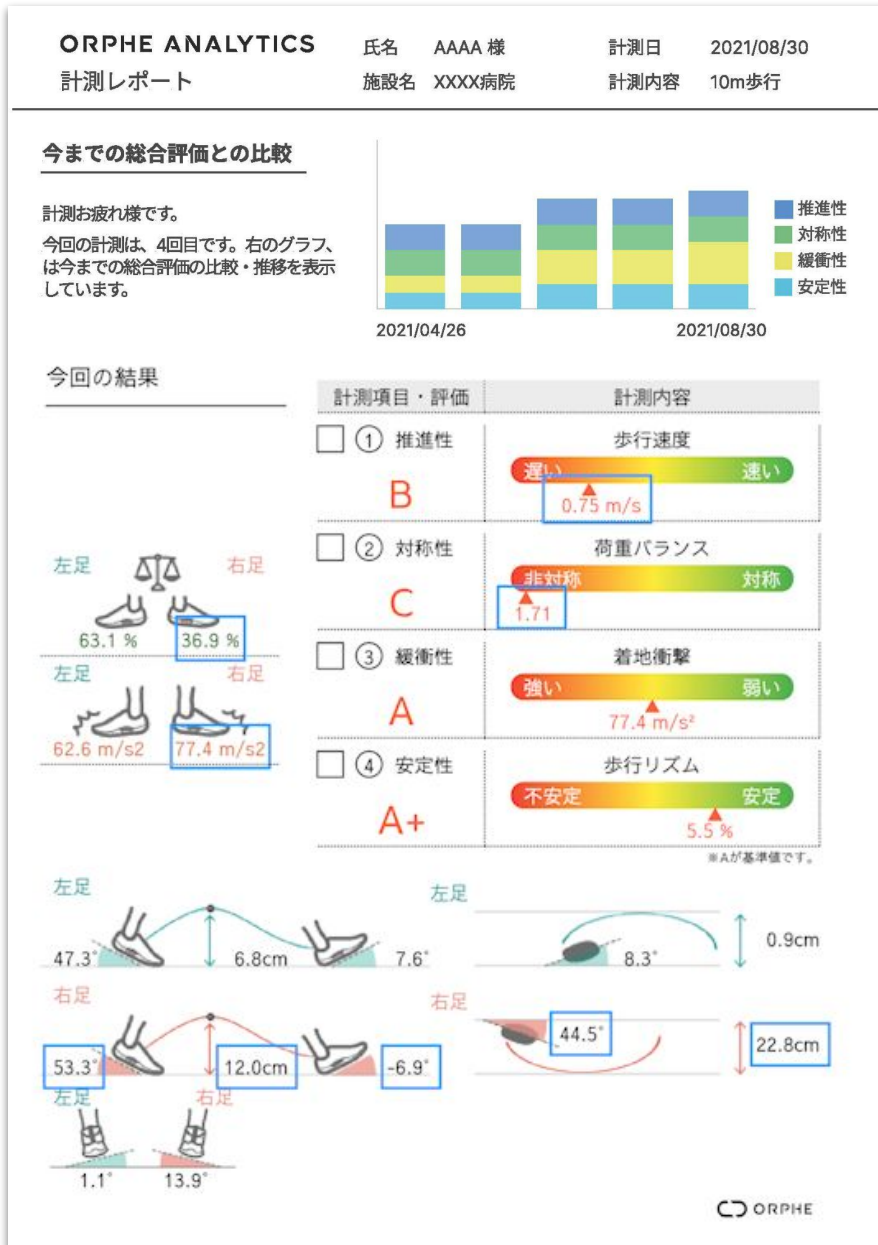
- ・逃避傾向やメカニカルストレスの評価

足部の挙動:

- ・離地角度や足の高さから代償運動の評価



活用事例 | 脳神経外科 | 右片麻痺の例



推進性(歩行速度):

- ・移動能力、転倒リスクの評価

対称性(単脚支持期の左右比):

- ・左右の支持性の差を評価

着地衝撃:

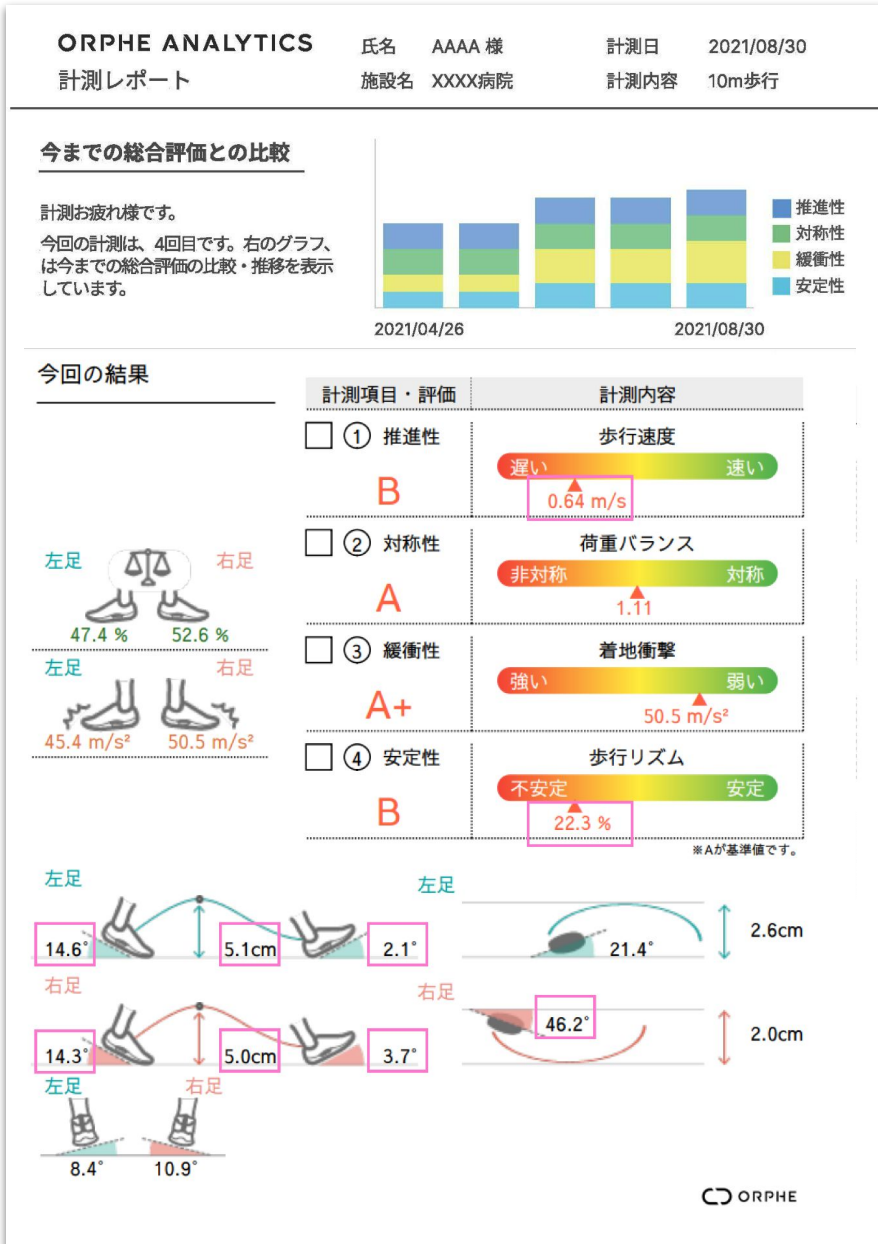
- ・過度の着地衝撃が無いかの評価

足部の挙動:

- ・ぶん回しや足の高さ、尖足着地(痙縮)の可視化



活用事例 | 耳鼻咽喉科 | ふらつきがあり、すり足様の歩容を呈する例



推進性(歩行速度):

- ・移動能力、転倒リスクの評価

対称性(単脚支持期の左右比):

- ・歩行時の左右対称性の評価

歩行リズム(歩行周期の変動係数):

- ・ふらつきの程度の可視化

足部の挙動:

- ・着地時・蹴り出し時の足部の状態や足の高さから、すり足様の動きの小ささを可視化



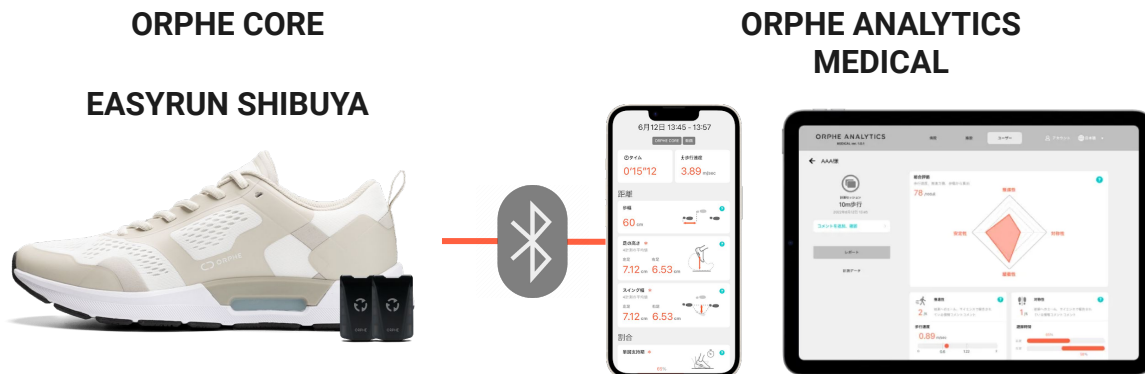
FAQ

FAQ

? デバイスの推奨スペックは?

アプリが正常動作するためには下表に記載の端末を推奨します。

iPhone・iPadともに最新OSバージョンの更新を推奨



推奨端末

iPhone

- iPhoneX以上

iPad

- iPad mini (第6世代)
- iPad (第8世代)
- iPad (第10世代)
- iPad Air (第5世代)
- 11インチiPad Pro (第2世代)
- 11インチiPad Pro (第3世代)
- 11インチiPad Pro (第4世代)
- 12.9インチiPad Pro (第4世代)
- 12.9インチiPad Pro (第5世代)
- 12.9インチiPad Pro (第6世代)

FAQ

? 歩行が自立していない場合(介助者や歩行器等が必要な場合)でも計測可能ですか？

ORPHE COREのデータは問題なく計測できます。

? ORPHE CORE とスマートフォンとの接続が切れてしまった場合にはデータは計測できませんか？

無線接続が途切れた場合は計測できません。接続可能な範囲での計測をお願いいたします。

? ドロップジャンプや反復横跳びなどの動きは計測可能ですか？

解析アルゴリズムは歩行・走行動作に特化しているため、ドロップジャンプや反復横跳びなどの動きは計測できません。

? 市販の ORPHE CORE を ORPHE ANALYTICS MEDICAL で使用可能ですか？

市販のORPHE COREはご利用いただけません。

? iPhoneやiPadだけでもデータの計測から閲覧までができますか？

可能です。iOSアプリでは計測と閲覧の両方にご利用いただけます。

? クラウドに保存されるデータについて、どのようなセキュリティ対策がされていますか？

国際規格に適合したセキュリティ要件を満たし、常に最新のセキュリティ規格で運用されております。また、全ての通信は暗号化され、第三者が通信を傍受することはできません。

? クラウドに保存されるデータは、バックアップされていますか？

データベースは多重に構成されており、常に並行稼働し、障害発生時は自動的に予備サーバーに切り替わります。自動でデータのバックアップを行い、大事な検査データを守ります。

FAQ

? ORPHE CORE とスマートフォンとの接続可能範囲はどの程度ですか？

10m以内でご利用ください。

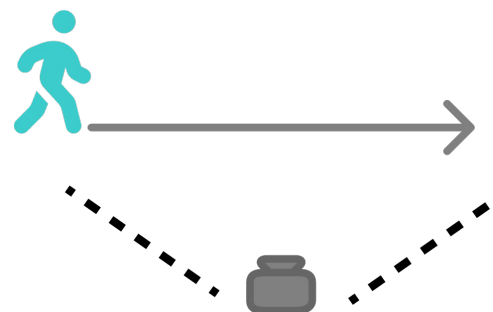
? 動画を撮るときはどのような撮るのがよいですか？

動画はORPHE COREのBluetooth接続が途切れないように以下の撮影方法を推奨します(①②)。

① 患者に付き添いながら撮影



② 歩行路の中間地点から撮影



また、以下のような正面・背面(前額面)からの撮影は本製品において推奨しておりません。

ORPHE COREとスマートフォンの距離が遠くなり、Bluetooth接続が途切れやすくなるためです。



FAQ

? ORPHE CORE を足背に装着した場合とシューズに内蔵した場合とでは計測精度に違いがありますか？

正しく装着いただければ、足背への装着においてもシューズに内蔵した場合と遜色のない精度のデータを取得できます。装着方法の遵守が難しい／正しく装着されているか確認できない場合は、専用シューズに内蔵した状態でのご利用をオススメします。

下記条件を満たしていることをご確認ください。

- ORPHE CORE が足部に対してしっかりと固定されている
- 水平面上でORPHE CORE のY軸が足部の長軸に対して平行に装着されている



取り付け方は
動画でご覧いただけます

FAQ

? ORPHE COREの接続が頻繁に途切れる

院内でマイクロ波治療器(使用周波数:2450±50MHz)を利用している場合、ORPHE COREとアプリケーションとのBLE接続が、電波干渉により不安定になる場合がございます。ORPHE ANALYTICS MEDICAL使用時はマイクロ波治療器が利用されていないかをご確認ください。

※マイクロ波治療器を活用している当社製品導入施設様の多くは、ORPHE ANALYTICS MEDICAL の利用時にマイクロ波治療器を一時的に停止いただく等で運用いただいております。ご参考ください。



会社情報

会社紹介 | ORPHE inc.

“足元から世界を変える”をミッションに掲げ、センサー内蔵の履物「スマートシューズ」と、そこから得られるデータを活用するセンシング & クリエイティブプラットフォームを提供しています。

会社名	株式会社 ORPHE
代表取締役	菊川裕也 Founder/CEO
住所	東京都渋谷区代々木5丁目7番5号
設立日	2014年10月20日
資本金	1億円
従業員数	15名(2021年04月01日時点)
事業領域	スマートシューズを主とするIoT製品の研究開発および販売
ミッション	「足元から世界を変える」
主な受賞	グッドデザイン賞 受賞 文化庁メディア芸術祭 入選 スポーツ庁 INNOVATION LEAGUE コンテスト 大賞受賞 ほか多数
保有知的財産	特許 8件 意匠 1件 商標 8件
webサイト	https://orphe.io
SNS	Twitter @orphe / Facebook @orpheinc / Instagram @orphe.inc



ORPHE ONE | 2016



ORPHE TRACK | 2019



EVORIDE ORPHE | 2020



ORPHE ANALYTICS | 2021

ORPHE ANALYTICS MEDICAL 製品情報

orphe.io/analytics-medical

お問い合わせ先: 株式会社ORPHE

analytics@orphe.io

03-4405-5083